

光れ！そえひっ子



平成 20 年 1 2 月 1 日発行

連絡先: 電話 73-2312 FAX 73-2313 有線 2301 HPアドレス <http://www.school.umic.jp/soehi/>

1年間を見返す12月・・・わが子や学校の成長と課題を見つけましょう

個別懇談会 「子どもをさらに伸ばす」チャンスです。

子どもの評価方法にはおもに次の3つがあります。

他人と比べてみる(相対評価) 目標の達成度をみる(絶対評価) 以前の本人と比べてみる(個人内評価)

成長期の子供達にとって、二学期という学年途中の評価では、 の評価が大事だと、学校では考えています。他人と比べたり(特に、少人数の傍陽では、あまり意味をもちません)、目標の達成度をみたりするだけでなく、一学期と比べて、その成長の様子を確認することで、「前に比べたら伸びている。やればできるんだ」と自己肯定感をもち、さらに「もっと頑張ろう」と、三学期への意欲を高めることができます。このチャンスを生かしましょう。

よりよい傍陽小学校にするためのアンケート 「学校をさらに伸ばす」チャンスです

このアンケートにつきましては、一学期末に実施させていただき、それを参考に「二学期の最重点項目」を決めだして、二学期の教育活動を進めてまいりました。今回は、二学期の教育活動についてお尋ねする内容のアンケートです。

アンケートのうち、**赤色**で書いた質問は、まだ、二学期重点をおいて取り組んできたものなどについておたずねする内容になっています。また、**黒字**の部分は、一学期と同じ質問になっており、比較して検討したいと考えています。

お子さんの様子とともに、参観日や学校行事等でご来校いただいた折りにご覧になった学校全体(児童や職員)の様子、また、学校だよりや学級通信等の内容を参考にして、学校教育活動を見直して、お答えください。皆さんのアンケートを参考にして、三学期、さらに来年度の重点目標を考えていく予定です。なお、中間評価の詳細は、以前にお知らせしましたとおり、上記アドレスのホームページをご覧ください。

全児童の家庭からご提出いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

12月の予定

4年創造館学習	1日(月)
地区児童会	4日(木)
P T A 理事会	4日(木)
J A 引き落とし日	5日(金)
個別懇談会(中組)	12日(火)
個別懇談会(大庭・横道三区・穴沢・三島平)	15日(月)
個別懇談会(曲尾)	18日(木)
個別懇談会(田中・萩)	19日(金)
個別懇談会(入軽井沢・岡保)	17日(月)
スノーコンサート	25日(木)
二学期終業式	26日(金)
冬休み	27日(土)
	～1月8日(木)

スノーコンサートへのお誘い

25日(木)9:35～10:45 体育館

年の暮れの全校のお楽しみ会・・・3年目になりました。内容は、各学年とも、11月から12月にかけての音楽の授業で学習した曲や、子ども達が演奏したいと希望した曲を発表します。

職員演奏では、山下達郎の「クリスマス・イブ」です。また、いつも通り寸劇も飛び出す予定です。

暮れも押し詰まって、お忙しいときかと思いますが、「忙中閑あり」・・・ご近所お誘い合わせの上、子ども達とともに楽しみ下さい。お待ちしております。

平成20年度 全国学力・学習状況調査の結果をうけて

本校では、4月に実施したCRT調査（「国語」と「算数」について、2年から6年で実施）の分析から、また、保護者アンケートをもとにした学校自己評価中間評価から、授業改善を行っています。全国学力調査についての分析がまとまりましたので、これも一つの大事な資料として受け止め、成果と課題について検討し、それをもとに、6年生だけでなく、全校の子ども達への学習指導についてもあわせて、今後の取り組みについて方針を立てましたので、お知らせいたします。

学力・学習状況調査の分析と考察

1 「国語」の学力調査より

- (1)「スピーチの組み立てを工夫する」「スピーチを聞き合い、組み立ての工夫(よさ)を学び合う」学習が十分でなかったことが考えられる。
- (2)問題をしっかり読んで、問題を把握する力が十分身につけていないこと、また、問題順に機械的に解いている様子、つまり時間のかかりそうな問いに対しても「分からない問題は後回しにする」という方法をとっていない様子がうかがえる。
- (3)書く活動において、「設定された条件にしたがって書く」という学習を取り入れるなど、学習した内容を書いてまとめることが必要と考えられる。

2 「算数」の学力調査より

- (1) 正答率の低い児童に対しては、個別指導による復習が必要と考えられる。
- (2) 四則計算のきまりについて十分な理解ができていない児童がいるので、各学年で学習したものを、次学年以降でつねに復習しながら理解を深めていく必要がある。
- (3) 応用問題に対する指導が不十分であったことが読み取れる。応用問題について考える場合に、さまざまな解き方について、考え合う学習を充実させることが必要である。
- (4) また、社会科や理科での資料・グラフの読み取り場面、さらに、総合的な学習においても、他教科で応用する学習場面でも、算数指導を充実させる必要がある。

3 学習の様子についての質問調査の結果より 注:「相関関係がある」=「学力調査」の結果と関係がある

- (1) 2年連続して相関関係が明白に認められる。
 - ・ 海、山、川、湖などで遊んだ経験が多い。
 - ・ 家で学校の宿題をしている。
- (2) 2年連続して相関関係が認められ、今年は明白な相関関係が認められる。
 - ・ 平日に、家の人と一緒に夕食を食べている。
 - ・ 携帯電話を持っていない。
 - ・ 近所の人に出会ったとき、あいさつをしている。
 - ・ 平日、家庭での学習時間が長い。
 - ・ 「総合的な学習の時間」の勉強が好き。
 - ・ 算数の勉強は大切だと思っている。

4 その他・・・CRT調査に関わっての分析(過去3年間の結果からみえてきたこと)

- (1) 全体的には全国平均に比べ低くないが「知識・技能」の力に比べて「思考・判断」の力が弱い。
- (2) 低学年では全国平均を十分上回っているが、高学年になると低下の傾向が見えている。
- (3) 2年(初めてのCRT)での結果が、6年まで反映される傾向がある。
- (4) 2年から3年にかけて「思考判断力」中心に算数学力低下の傾向(算数、2年連続)がある。

成果

- 1 6年生については、国語Aについて、全国平均とほぼ同程度の結果が得られた。5年時、総合的な学習と

国語の学習を関連づけた指導に力を入れてきたことが要因と考えられる。

- 2 初めての調査をした2年生については、1年次の学級経営・学習指導について、算数での「10までの数の合成・分解」で指折りをする児童をめざす朝のチャレンジ学習の取組、生活科学習を大事にした学級づくりを行ったことが、CRTの結果につながったと考えられる。(全国平均をやや上回る結果)
- 3 3～5年のCRTについても、前年度に引き続いて、全国平均と同程度、また、全国平均をやや上回る結果を得られた。

課題

1 6年生への学習支援

(1) 国語指導

ア)問題を正しく把握するための指導を工夫していく。

イ)日々の生活に位置づけている国語的活動との関連を図ったり、問題に与えられる様々な条件を理解して、条件に沿いながら問題を解決したりする学習を取り入れる。

(2) 算数指導

ア)四則計算などの基礎的知識・技能について、小学校の各学年で指導してきた内容の総復習をする場面で、個別に丁寧な指導をしていく。

イ)応用問題について考える場合に、さまざまな解き方について、考え合う学習を充実させる。

ウ)社会科や理科での資料・グラフの読み取り場面、さらに、総合的な学習においても、他教科で応用する学習場面でも、算数指導を充実させる。

以上の支援は、日々の授業のほか、朝の「チャレンジの時間」や「学びの時間」を活用して実施していく。

2 全校への学習支援

(1)「イメージ化」をキーワードとした授業改善の充実

二学期当初、担任が二学期の授業についての「授業改善案」を作成し、全職員で意見交換をして、日々の授業改善を図る。

二学期に行われる授業公開・授業研究会(4回実施)では「イメージ化」に焦点をあてた話し合いをもち、職員の授業力向上を図る。

(2)家庭学習の習慣化

学校としての指針について協議する。

協議にもとづいて、各学年にあった、より適切な家庭学習の工夫を図る。

家庭学習について考え方を学級通信等で家庭に伝え、家庭の協力を求める。

家庭学習の評価方法は、より有効な課題を探り、指導の意欲を高めるため、引き続き研究していく。

(3)個別支援体制の強化

「チャレンジの時間」「学びの時間」は定着してきたが、質を向上させる取組を進める。

特別支援教育支援員による個への支援をさらに充実させていく。

(4)教育課程の改善

改訂学習指導要領についての職員の理解を進め、来年度からの移行に備える。

(5)家庭との連携

家庭学習や生活習慣改善への協力依頼を、今後積極的に進める。

傍陽小学校では、今回の学力調査からみえてきた課題をすべてとは考えていません。「確かな学力」の向上を図るとともに、「豊かな人間性」や「健康な身体」についてもともに高めていき、バランスの取れた子どもの育成をめざしていきます。子どもの健やかな成長のため職員一同、より研鑽を積んでいく覚悟ですので、今後とも、ご協力よろしくお願いたします。

1 1月の傍陽小学校

管楽器クラブ6年引退・4年加入 真田町文化祭、ファイナルコンサートを最後に、6年は引退しました。新たに4年生が加入し、6年生が指導に当たっています。



人権教育参観日(4日)

全学年で、人権をテーマにした「道徳」「学級活動」の授業を実施しました。

その後、PTAと学校職員が、かりがね福祉会副理事長小林彰さんの講演をお聞きしました。



フェスタそえひ(18日)



生活科・総合の学習発表会に、多くの保護者・地域の方に来ていただいて、学習の成果を子どもたちが考えた多彩な方法で発表できました。



清掃教室(6,7,12,13,14日)

長寿会女性部役員さんに講師になっていただき、掃除の仕方を学びました。

高学年は、それを「なかよし清掃」で兄弟学年に伝えています。



4年車椅子体験学習 福祉についての学習の第一歩。社協の方に教えていただきました。



なかよしバイキング 給食 なかよし月間の取組として兄弟学年で実施。楽しくおいしい給食でした。